

5 八 経 計 第 3092 号
令和6年(2024年)3月28日

八王子市議会議長
鈴木 玲央 殿

八王子市長 初宿 和夫



「水のまちづくり」に関する提言について（回答）

令和5年(2023年)3月28日付4八議議発第281号により提言いただいたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

1 提言内容

「水のまちづくり」

- (1) 水辺活用の促進に向けた取組の継続
- (2) 恒常的な水辺活用の実現に向けた取組の推進
- (3) 事業効果を向上させるインフラ整備の推進とまちづくりへの展開

2 回答

提言いただいた内容については、本市の豊かな水辺を活用するために有益なものであると考えます。

現在市では、水辺活用の更なる促進に向け、水辺活用実証実験の取組を進めております。令和5年度(2023年度)は、河川沿いの公共空間に飲食・物販店を出店し事業性の調査を行ったほか、関係者との意見交換会、先進事例のヒアリング調査、環境学習イベントとの連携など、水辺活用の可能性について多角的に検証し、その結果、自律的かつ継続的な事業実施に向け一定の見込みを得ることができました。

今後は、恒常的な水辺活用の実現に向け、継続が見込める場所の選定を進めるとともに、町会・自治会、市内事業者等が参画した準備会を設置し、合意形成を図りながら水辺活用のスキームを検討してまいります。引き続きプロモーション活動やSNSを活用するなど、周知にも力を入れてまいります。

また、実証実験を通して河川空間のあり方についても意見を得ており、今後の河川整備に向けて管理者との協議に活かしてまいります。北野地区については、「北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想」において、浅川沿川を親水空間として活用するよう位置付けました。

市では、今後とも「水のまちづくり」に向け関係所管で連携して取り組み、町会・自治会をはじめ地域住民・市内事業者等の積極的な参画が促されるよう、水辺空間の賑わい創りを目指してまいります。